



十一月便り

先月はストレスについてお話ししました。実は自分が何を言っているのか？よくわからないなど思いつつ書きましたが、改めて読み直すと、ふむふむ、なるほど、と自分で納得しました。

時には自分を見つめ直す？ そんな気持ちになって、それも良いかな？なんて思いました。

さて、今回は朝ドラのお話に戻りたいと思います。暗い地獄のような毎日、自分を責め続けた裕一君が「とんがり帽子」「長崎の鐘」で見事復活をしました。久志君がまだ地獄の生活をしていました。国賊とか戦犯と言われ、お父さんは不本意な死を遂げたとか、とても悲しいことです。昭和20年代の前半は、思い出せばそんな時代でした。私が皆さんによくお話しすることがありますが、作詞、作曲の先生とか、バンドのリーダーの名前は、一般的にはあまり知られないことが多く、歌っている歌手の名前が有名になり、皆さんも、ああ、あの曲はあの歌手が歌っていた、と云う訳で、戦時歌謡を歌って












た久志君の方が世間では名前が知れ渡り、だからこそ、国賊と言われ戦犯と罵られ、裕一君以上に苦しんだのかもしれない。しかし、「栄光は君に輝く」で復活しましたね。私もある程度は知っていたつもりでしたが、こんなに戦争で苦しんだ人たちのことを思うと、改めて戦争は良くない絶対にしてはいけない、あの悲惨さを忘れてはいけないと思ひ、忘れないためにも毎日、明日への希望を高らかに歌いたいと思います。朝ドラ「エール」は、久しぶりにNHKってなかなかやるじゃん！なんて思っています。もう一つ次のお話は、大将の話、福島三羽ガラスの作詞の大将、ずいぶん前になりますが、最初に就職した会社の社長に見込まれて、娘を嫁にもらってくれというのがありましたね。その時、大将は恋人がいました。仲居をしていた恋人、その恋人は社長から手切れ金を受け取り、大将の前から姿を消しました。いつもの喫茶店で別れの言葉を残して、本当は愛し合っていたのに、大将はどうしても別れたくないと行きましたが、彼女は去って行きました。この話の続きですが、大将が作詞する歌に

「湯の町エレジー」が出てきます。作詞、野村俊夫、大将のモデルになった作詞家です。詩の中に、「風の便りに聞く君は、いで湯の町の人の妻・・・」というくだりが出てきます。大将の忘れられない恋心、実話だからこそその涙の物語です。もうすぐきつと出てきますよ。ちなみにこの曲は、古関先生ではなく、古賀政男先生が作曲しました。朝ドラにエールを送ります。

令和2年11月おもしろ記念日

11月の誕生石は【トパーズ】

1 (日)	灯台記念日 
2 (月)	阪神タイガース記念日 
3 (火)	文具の日 文化の日 
4 (水)	ユネスコ憲章記念日 
5 (木)	縁結びの日 
6 (金)	アパート記念日 
7 (土)	鍋の日 
8 (日)	いい歯の日 
9 (月)	119番の日 
10 (火)	エレベーターの日 
11 (水)	おりがみの日 
12 (木)	洋服記念日 
13 (金)	うるしの日 
14 (土)	パチンコの日 
15 (日)	七五三 
16 (月)	幼稚園記念日 
17 (火)	将棋の日 
18 (水)	土木の日 

19 (木)	緑のおばさんの日 
20 (金)	世界こどもの日 
21 (土)	早慶戦の日 
22 (日)	いい夫婦の日 
23 (月)	外食の日 勤労感謝の日 
24 (火)	オペラの日 
25 (水)	OLの日 
26 (木)	ペンの日 
27 (金)	ノーベル賞制定の日 
28 (土)	太平洋記念日 
29 (日)	議会開設記念日 
30 (月)	シルバーラブの日 